

第16回 長野県移動性・安全性向上検討委員会 議事要旨

開催日時：平成30年7月24日(火) 15:00～17:15

開催場所：長野保健福祉事務所 303号会議室

<議事次第>

- 1 開催あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 議 事
 1. 長野県における主要渋滞箇所について
 - (1) これまでの検討経緯
 - (2) 今後の渋滞対策について
 - (3) 渋滞対策の進捗状況確認
 - (4) 渋滞対策箇所の効果確認
 - (5) 主要渋滞箇所の見直し
 - (6) ピンポイント渋滞対策の検討
 - (7) その他渋滞対策について
 2. 長野県における交通事故対策について
 - (1) 長野県内の最新の交通事故状況
 - (2) 長野県内幹線道路の交通事故対策について
 - (3) 長野県内生活道路の交通事故対策について
 3. その他



(委員会の様子)

<議事>

- =説明・意見・質問・要望
- =回答

【討議内容】

- (1) 長野県における主要渋滞箇所について

(2) 長野県における交通事故対策について

CO2^{ハソク}
推進機構

- せっかく移動性と安全性の合同委員会として取り組んでいるので、渋滞の方でも事故対策で示されているように緊急対策により課題が解消された事例等があれば、紹介いただきたい。また、渋滞対策のほうでも事故対策のように効果が見られない箇所について追加対策の基準があれば同じように明記していただきたい。

事務局

- ご意見を踏まえて対応させて頂く。

長野県
道路建設課

- 中間評価の追加対策基準において、ポアソン確率に基づき 95%信頼度の 1.85 倍を採用しているが、信頼度を 95%と設定したのはなぜか。

事務局

- 統計学上、一般的に 95%が用いられている。95%は厳しめな基準であり、それだけ偶発性を排除しようとするもの。最終的には4年間で判断するが、2年間で基準を超えて増加したものについては対策が必要と考えている。

長野県 都市・
まちづくり課

- 事故ゼロプランの見直し「方針②」のただし書きにおける例外的な除外措置とはどういったケースか。

事務局

- バイパス整備等による道路ネットワークの見直し等の外部要因により事故対策が未実施であっても事故が減少しているケースなどで、そのように改善の理由が明確に特定できる場合は除外対象としてもよいのではないかと考えている。

長野県 都市・
まちづくり課

- 新たな事故危険区間の抽出指標として自転車・歩行者事故とあるが、自転車と歩行者を別に捉えて対応する必要はないか。

事務局

- 自転車と歩行者の事故件数は少ないため、従前通りまとめた指標としたい。

委員長

- 自転車・歩行者事故における発生件数の多寡や事故の相手は自動車が多いのかなど細かいところが分かるとよい。

事務局

- ご意見を踏まえて対応させて頂く。

委員長

- 生活道路対策の推進に向けた事務連絡について、本委員会名での発出となっているが県の了解は如何か。

事務局（県）

- 問題ないと考えている。

長野県 都市・
まちづくり課

- 市町村に発出するものであり長野県が発出の対象である必要はあるか。

事務局

- 県とも連携して市町村に対し働きかけていきたいと考えている。

委員長

- H22 年事故ゼロ箇所の完了基準について、地元等の意見を確認したうえで完了としてください。

事務局

- 検討してご相談させていただきます。

(以 上)